

FMアップルウェーブ 第78回放送番組審議会

開催日時	平成25年2月23日(土)12:00~13:00
開催場所	菊富士(弘前市坂本町)
出席委員	委員長 石岡 徹、 副委員長 工藤 茂起 委員 鳴海 清彦、 佐藤 浩之、 渋谷 拓弥、 高村 智子
会社側出席者	代表取締役社長:清藤 哲夫、 専務取締役:一戸 勝美、 取締役:倉田 昌直、 新戸部 洋輔 放送部チーフ:花田 由香子
議題	(1)番組に対する意見要望 (2)次回開催日について *変更の場合は前もって連絡
議事の概要	<p>○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1)課題番組 『夢応援ラジオじょっぱれ@弘前』 (毎週金曜日19:00~)</p> <p>① 新年1回目の放送に対し、「一発目」と言っていたのが気になった。話し手がどういう立場の人物なのかが番組後半にならないとわからない。地元の中高生も聴いている想定で、「弘大の先生」は誰なのかを明確にしてほしい。地元の若者が希望を持てるような幅のある展開や、深いところまで突っ込んだ話がほしい。大学3年生の若者がしっかりと将来を考え、それを発言しているのが良い。</p> <p>② 咳払いをした後は「失礼しました」という一言が欲しかった。アニメソングを間に流していたが、それに対する想いを話す時間が長く、本編の話題よりも熱く語っていたので本題が何なのかわからなくなってしまふ。「夢応援ラジオ」とタイトルなのだから、ゲストの夢の話ばかりでなく、リスナーの夢の話も募るなどして盛り込むべきなのでは。全体的につかみどころがない印象。</p> <p>③ トーク番組と言う点で、聴き易かった。「一発目」など、言葉選びや表現はもっと適切なものにしてほしい。内容はまだ足りない部分もあるが、成長して行ってほしい。しっかり番組の準備・仕込んだ上で作ってほしい。全体的には心地よく聴くことが出来た。</p> <p>④ 「夢」というテーマでの番組構成はしっかり流れが出来ていた。ゲストがスタジオを出たり入ったりしていたが、ずっと中に居ても良いのでは。コンクールに出場した話のまとめがイベントの開催告知だった。もっと違った落とし方があるはず。大学3年生が嘸んだりせずスラスラと夢を語っていたのは良かった。</p> <p>⑤ 夢を叶えたゲストの話は掛け合いのテンポも良く聴き易かった。一方一人喋りになると「あー、えー、」という詰まりが多く、聴き辛い。全編ゲストを交えながら進行すると良いのでは。アニメの話題に突然替り熱く語っていたので別な番組かと思ってしまった。メインパーソナリティの夢の話が無い。ゲストだけではなく、多くの人の夢の話が出ると良いと思う。</p> <p>⑥ 「最近の若者は夢がない、希望がない」と言われる中で、このような構成の番組は素晴らしい。しかし、テーマは良いが話の内容が上辺だけの印象。ゲストがアナウンスのコンクールで受賞したという話だが、その中身が出てこない。深めるためにもコンクールの内容のアナウンスを披露してもらいたかった。ゲストが行っているアナウンスの練習ルーティーンをインタビュアーが実践してみしてほしい。選曲をもっとライトに。トークの内容を薄めるようなインパクトの強すぎる曲は避けた方が良い。</p> <p>【審議機関の答申または改善】 弘前出身で、活躍する人物をどんどん取上げてほしい。また、そのインタビューなどは是非中学生・高校生に聴いてもらいたい。</p> <p>【審議機関の答申または改善意見の公表】 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載</p>